

1. <平成28年度法人ビジョン>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <基本方針>

- ①児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき児童の人権を尊重する。
- ②共同で行動することを通して、生活習慣、人間関係、思いやり等が身につくように援助する。

3. <大慈学童クラブにおける中長期ビジョン>

- ・地域福祉の一環として、地域のニーズに応え、利用者が安心して利用出来るサービスを提供する。また各利用者が集団生活を通し、思いやりの心と考える力を育めるよう努める。

4. <目標>

①利用者のニーズを把握し、ニーズに沿ったサービスを提供する

- A) 定額制での延長保育の受け入れ
- B) 対保護者への子どもに関する相談業務
- C) 昼食会の質の向上
- D) 行事内容の充実

特別な配慮が必要な児童には、保護者と連携を取り、児童が学童で過ごしやすいうよう努めた。また19時以降の延長保育の受け入れ、長期休み中（8月）の昼食会の回数を増やすなど、保護者のニーズに応える様に努めた。今後も地域福祉として、利用者のニーズに沿ったサービスを提供していきたい。

②リスクマネジメントに基づき、リスクの軽減を図る

- A) リスク会議の場だけではなく、日頃よりリスクマネジメントを意識し、リスクの軽減に努める。

今年度、環境面でのリスクマネジメントでは、地震時の津波を想定した避難訓練を行った。不審者対応訓練等、まだ出来ていないこともあるので、来年度は緊急時に迅速に対応出来るよう、内容のある訓練を実施していきたい。また、日頃からひとつひとつのリスクに目を向け、リスクの軽減に努めていきたい。

③職員の資質の向上。

- A) ビジョンに沿ったサービスの提供、保育が出来るように各職員、資質の向上に努める。（研修参加・価値観の共有化等）

保育能力の向上とは別に、保護者への対応とニーズも多様化されているため、その都度、何かあった場合は職員間で話し合い、価値観という部分で同じ資質を持って対応出来るように努めた。来年度は新たに職員も入るため、引き続き価値観の共有化という部分に力を入れ、体制を整えていきたい。

5. <<保健衛生>>

- ・集会室のエアコンのクリーニング、廊下清掃を業者に依頼した。
- ・集会室の床を毎日（日、祝日、年末年始は除く）モップをかけた。
- ・害虫駆除を行った。

6. <<消防避難訓練>>

- ・昼間実施の場合に参加した。（地震時の津波を想定した訓練も1度実施した）

7. <<広報>>

- ・保護者、各区役所、神戸市役所こども企画育成部に、学童新聞を発行した。
- ・新聞の内容に生活情報や豆知識等、暮らしに役立つものを加え、内容の充実を図った。

8. <<会議>>

学童委員会（月1回）

→学童委員長を中心に行事の内容、保護者への対応、特別に配慮が必要な児童の対応、学童のルール等について話し合いをした。今後も利用者のニーズに応えられるよう、有意義な会議にしていきたい。

9. <<行事内容>>

①リアル板宿スイミング

→夏季は気候の関係から室内で過ごす時間が多くなるため、数年前より希望者のみ職員が引率し、プールで遊ぶという行事を行ってきた。しかし、年々、希望者が減ってきており、今年度も少なかった。内容も含め、今後も続けていくのかなど、来年度は検討していきたい。

②お別れ会

→贈り物の色紙に、1～2年生からサプライズでコメントを書いてもらい、退会（卒業）する児童に渡した。また、会で行うゲームも退会者に意見を聴き、反映するようにした。子ども達の反応が良かったので、今後も子ども達が楽しみ、心に残る様な企画を考え、行事を行ってきたい。

③のびっ慈 day

→毎月、その月の担当者が子ども達の様子を踏まえ、内容を考えた。宿題をせずに子ども達のがのびのびと過ごすという事を目的としているため、今後も内容に工夫を凝らし楽しんでもらえる様な内容にしていきたい。また、子ども達が様々な事を体験出来るよう、職員側の発想力も豊かにしていきたい。

月	日	行 事	月	日	行 事
4	8	昼食会	9	1	昼食会
	11	花見		17	昼食会
	12	昼食会		20	のびっ慈 day (ロケット作り)
	22	のびっ慈 day (スライム作り)			
5	7	昼食会	10	1	昼食会
	21	昼食会		3	グループワーク (神戸青少年科学館)
	24	のびっ慈 day (ドッジボール)		15	昼食会
6	4	昼食会	11	21	のびっ慈 day (室内遊び)
	17	のびっ慈 day (コースター・キーホルダー作り)		31	ハロウィンパーティー
	18	昼食会		4	グループワーク (神戸動物王国)
	27	グループワーク (森永乳業神戸工場見学)		5	昼食会
	30	個別懇談会 (希望者対象) (7/6まで)	15	のびっ慈 day (ランチクロス作り)	
			19	昼食会	
			28	個別懇談会 (希望者対象) (12/3まで)	
7	21	昼食会	12	10	昼食会
	25	昼食会		22	クリスマス会
	26	昼食会		26	のびっ慈 day (デコパージュ)
		のびっ慈 day (中央体育館)		27	昼食会
	28	リアル板宿スイミング	6	昼食会	
8	1	スイカ割り	1	10	もちつき
	2	のびっ慈 day (水鉄砲作り・水遊び)	27	のびっ慈 day (鬼の面作り)	
	3	昼食会	2	3	節分 (まめまき)
	4	リアル板宿スイミング		4	昼食会
	5	昼食会		10	のびっ慈 day (巻き寿司作り)
	8	交通安全教室	18	昼食会	
	9	ボランティア (昔遊び)	3	3	ひな祭り (雛壇を飾る)
	10	昼食会		22	昼食会
	16	昼食会		23	お別れ会
	18	運動遊び (中央体育館)		24	昼食会
	19	昼食会		28	のびっ慈 day (カワサキワールド)
	22	昼食会			
		東川崎自治会 (映画会招待)			
	23	地藏盆			
	24	ボランティア (マジックショー)			
	25	リアル板宿スイミング			
	26	のびっ慈 day (水遊び)			
	29	ボランティア (フェルト遊び)			
	30	昼食会			
	31	屋台村			

10. 《利用人数》

初日在籍数（人）

学年 月	学年				学年 月	学年			
	1年	2年	3年	合計		1年	2年	3年	合計
4	14	14	7	35	10	14	14	7	35
5	14	14	7	35	11	14	14	7	35
6	14	14	7	35	12	14	14	7	35
7	14	14	7	35	1	13	14	7	34
8	14	14	7	35	2	13	14	6	33
9	14	14	7	35	3	12	13	6	31

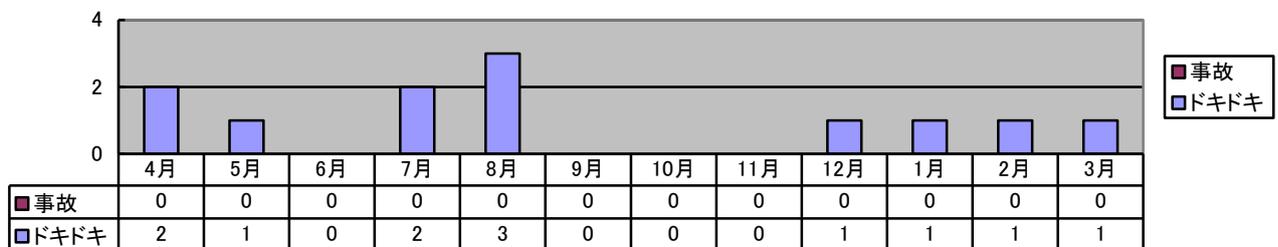
11. 《リスクマネジメント報告》

① 28年度ヒヤリハット報告件数・・・12件

※27年度年間報告件数19件

→大きなケガに繋がる事故はなく、昨年度に比べて件数が減少した。

ヒヤリ報告(件数)

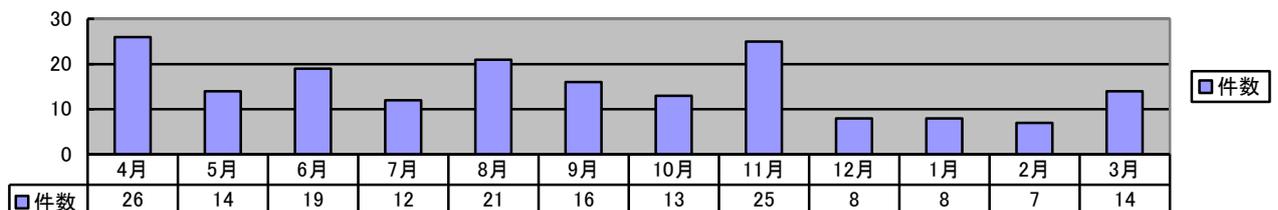


② 28年度ヒヤリハット以外のケガ報告件数（ケガノート）・・・183件

※27年度年間報告件数147件

→新しい環境（4月）の中でのケガが多い。また、長期休みやグループワークの際に起こるケガが多い。

ケガ報告(件数)



③発生場所

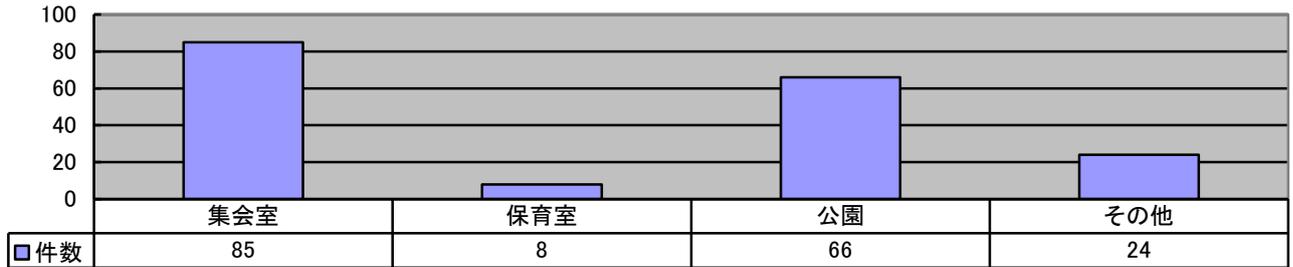
→事務中の確認ミスに関する報告が多いため、事務所内が多い。その他は、窓口対応、食材確認時、買い出しの際に起こったもの。

ヒヤリ報告(場所)



→集会室や公園で過ごす時間が多いため、それに比例して件数も多い。

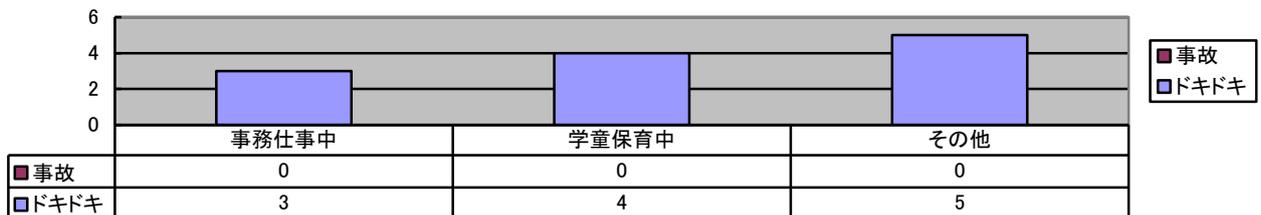
ケガ報告(場所)



④発生状況

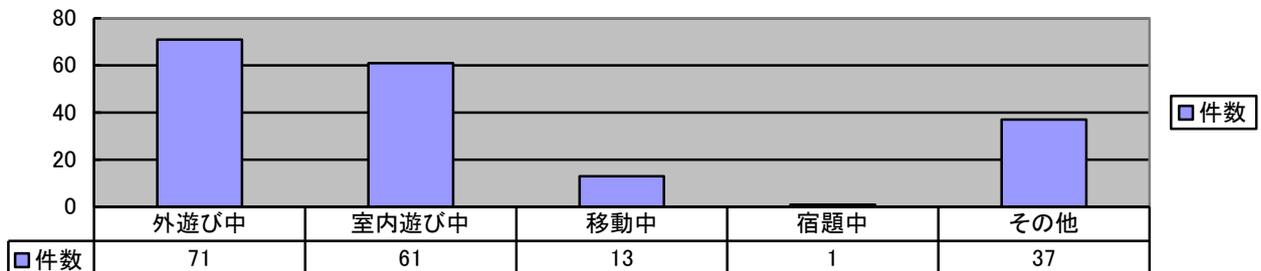
→その他には、買い出し中やお迎え対応時等が含まれる。前年度に比べ、学童保育中のミスは減っている。

ヒヤリ報告(状況)



→室内(集会室)で過ごす時間が長い時間があるため、それに比例して件数も多いが、外遊び中のケガも多い。その他のケガは、登所前や学校でのケガを処置したもの。

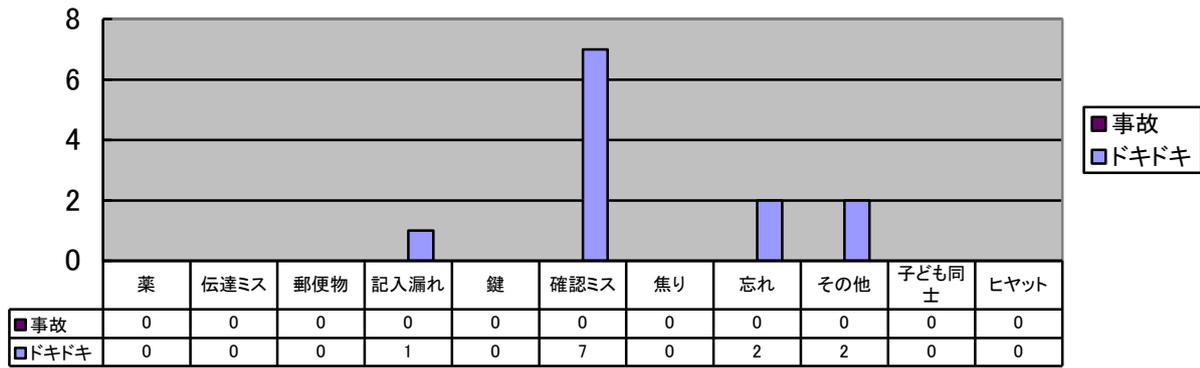
ケガ報告(状況)



⑤発生内容

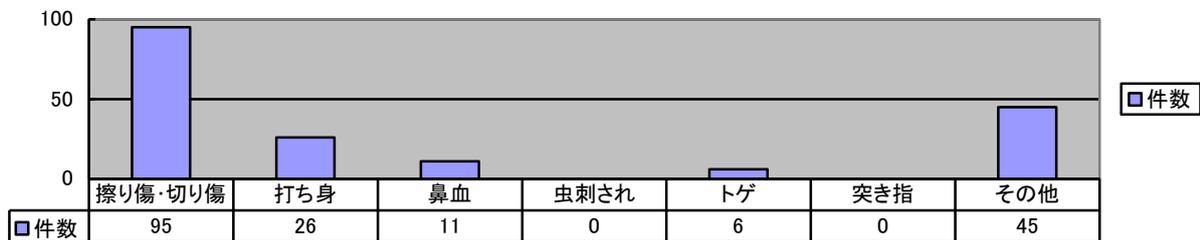
→確認ミスが最も多い。その他には職員の思い込みが原因となったものが含まれており、確認ミスに繋がっている。

ヒヤリ報告(内容)



→外遊び中のケガが多いため、すり傷、切り傷が多い。その他のケガは、床等で頭を打ったりなどのケガを含めているため、多くなっている。

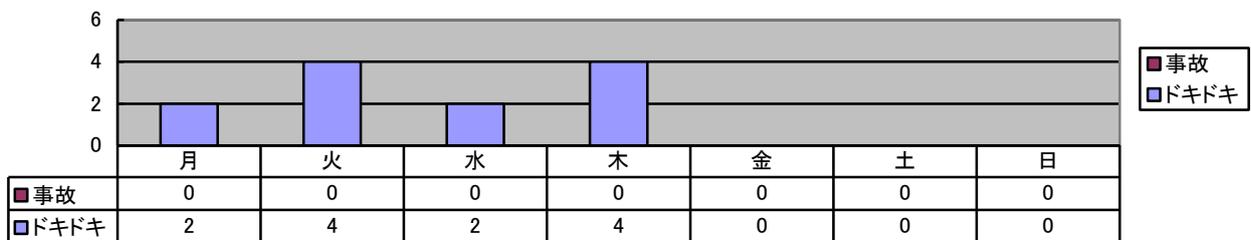
ケガ報告(内容)



⑥発生曜日

→曜日に関する特記事項はなし。

ヒヤリ報告(曜日)



⑦発生時間帯

→学童が利用する時間帯（13時～17時）が多い。

ヒヤリ報告(時間)



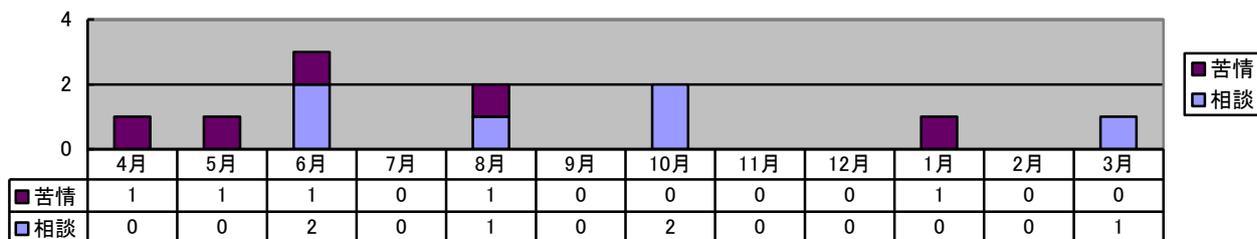
⑧まとめ

- ヒヤリ→前年度に引き続き、職員の確認ミスが多い。また、忘れや思い込みからミスに繋がることがあったため、職員同士で声を掛け合い、責任を持って仕事に取り組むようにしていきたい。
- ケガ報告→遊び中に転ぶなど、不慮のケガがほとんどだったが、ケガが起こった際、迅速に処置が出来るよう、準備はもちろん職員一人ひとりの知識も高めていきたい。

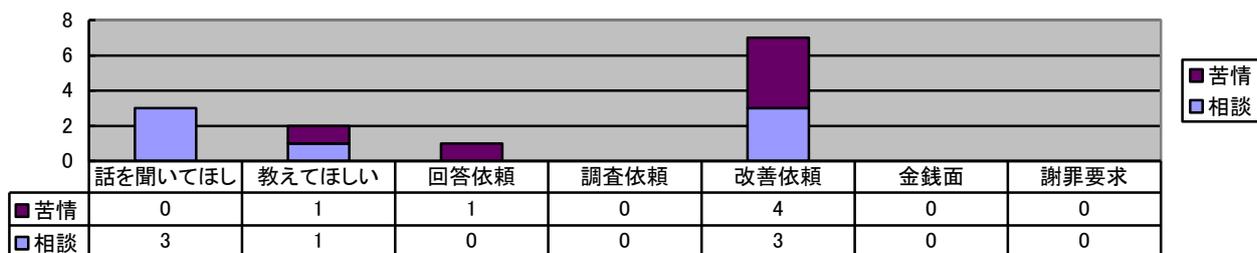
1 2. 《苦情・相談結果報告》 苦情の定義→施設長が状況を見て、苦情か相談かを判断する。

○報告件数…苦情5件、相談6件

苦情・相談報告(件数)



苦情・相談報告(要望)



→複数要望があるため、件数より数が多い。

○主な内容

相談→頭ジラミは流行っているか・朝の延長保育依頼（8時前開所）・こども同士の様子を教えてほしい・喧嘩の内容が知りたい

苦情→職員の対応・保護者への報告はどのようになっているのか・頭ジラミについて全児童の検診を行ってほしい・他児からきつい口調や暴力を受けている

○まとめ

苦情は職員の対応、保護者への報告ができていないことが多く、結果、不信感を招いてしまう行動に繋がってしまった。対策として、全職員が共通の認識を持ち、業務に取り組めるよう、会議で話し合い、問題が発生した場合は保護者へ報告するということを徹底するように努めた。今後も質の高い保育、対応等について話し合い、利用者から信頼、安心される学童保育を目指していきたい。

1 3. 《総括》

3月に行われた平成29年度の抽選会の希望者数からも、地域における学童保育の重要さを感じた1年だった。その分、利用者からのニーズも多様化しており、要望等、毎年違った意見が出ているが、学童保育として出来ること、出来ないことを今後も職員間で話し合い、可能な範囲でニーズに沿ったサービスを提供していきたい。また、職員の対応という部分で苦情が挙がったので、資質の向上、職員の価値観の共有化という部分には特に高い意識を持ち、取り組んでいきたい。